

埋文やまがた



2002年10月31日
第24号



酒田市 泉森南窯跡遺物出土状況

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURE ARCHAEOLOGY CENTER

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：www.yamagatamaibun.or.jp

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

考古学年表

2002年 発掘調査トピックス

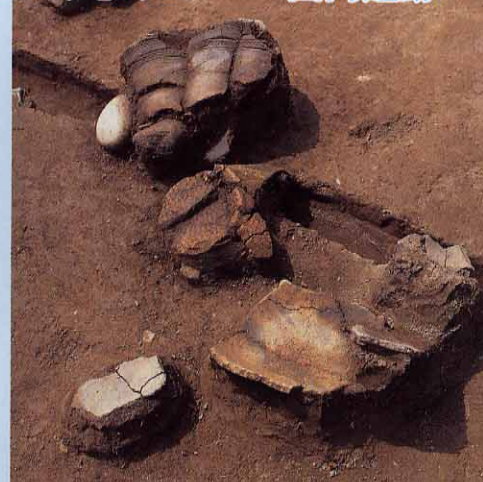
今年度は国土交通省や、県農林水産部・土木部・教育委員会・警察本部、地域振興整備公団からの委託を受けて、県内13遺跡の発掘調査を行っています。今回はその中から6遺跡を取り上げ、発見された生活の跡や残された当時の遺物について、トピックスとして紹介します。



年 代	時 代		今年度発掘調査遺跡
3万5000年前	旧石器時代	前 期	
		中 期	
		後 期	
B.C.11000 (1万3000年前)	縄文時代	草創期	西向遺跡 山形西高敷地内遺跡
B.C.4000 (6000年前)		早 期	
B.C.3000 (5000年前)		前 期	
B.C.2000 (4000年前)		中 期	
B.C.1000 (3000年前)		後 期	
		晩 期	
B.C.300 紀元前 A.D. 1 紀元前	弥生時代		
300 400 500	古墳時代		高嶺南遺跡 山形西高敷地内遺跡
600	飛鳥白鳳時代		山形西高敷地内遺跡 大明神遺跡 泉森南窯跡 小平2遺跡 小平3遺跡 川前2遺跡 達磨寺遺跡 東畑A遺跡
700	奈良時代		
800	平安時代		
900			
1000			
1100			
1200	中世	鎌倉時代	
1300		南北朝時代	
1400		室町時代	
1500		安土桃山時代	
1600	近世	江戸時代	山形城三の丸跡 飛泉寺跡遺跡 坂ノ上遺跡
1700			
1800			
1900	近代・現代		

海までなん歩？日本海側の縄文集落

鶴岡市
西向遺跡



住居跡の床から土器が出土しました



調査区の全景です

四方を山に囲まれています、3kmほど西には日本海が広がります。遺跡は、周囲より約10m高い段丘上にあります。

竪穴住居跡が14棟見つかりました。円形のほかに大型で長方形のものもあります。土器と石で組まれた複式炉を設けた住居もありました。出土した遺物は、縄文土器や石器など約30箱です。これらのことから西向遺跡は、今から約4500年前の縄文時代中期の集落跡であることがわかります。



12号住居跡の複式炉

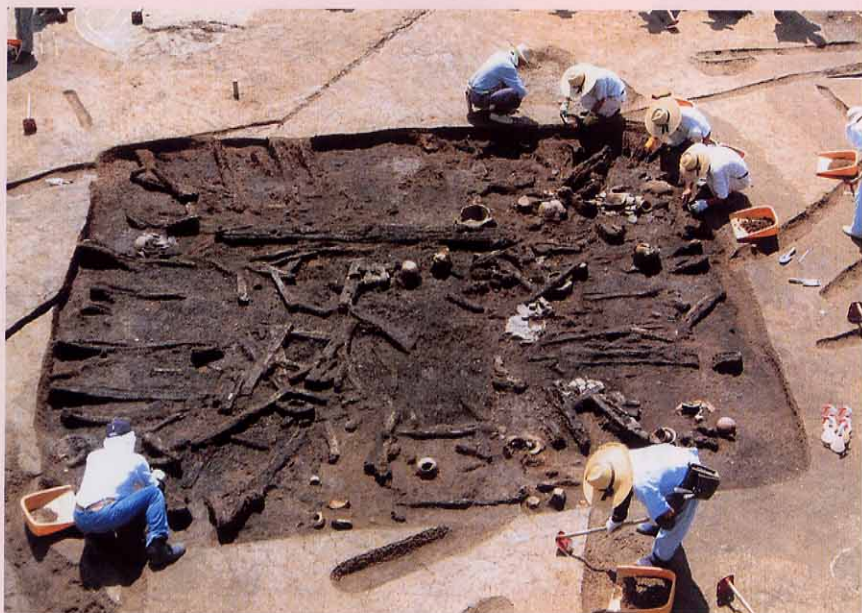


長さがおおよそ10mある大型の住居跡が見つかりました

古墳時代前期の焼失家屋！

天童市
高掬南遺跡

立谷川扇状地の前縁帯に営まれた古墳時代前期の集落跡です。炭化した垂木や桁などの部材が残り、上部構造がうかがえる焼失家屋には、火災前の生活のようすがそのまま残されていました。北西隅には床に据え付けられた壺の口縁部があり、丸底の土器を置く器台として使われていたようです。ムラの東端を北流する川は、ムラの人びとのゴミ捨て場となっており、壊れた土器に混じって鍬や大足、はしごなどの木製品も出土しています。



焼失家屋 一面の炭や建築部材の中から土器が顔を出しています



入れ子になっていた土器



鍬



川底近くのように 中央に大足とハシゴが、左下に鍬が見えます

川岸の古代集落と役所跡？

中山町
達磨寺遺跡

須川左岸の川岸近くに位置する古代と中世の集落跡です。古代の遺構には竪穴住居や掘立柱建物、井桁組をもつ大型の井戸や南北方向に延びる道路、墓や土坑などがあり、中世では区画溝や掘立柱建物、素掘りの井戸や鍛冶に関連する炉跡などが見つかりました。

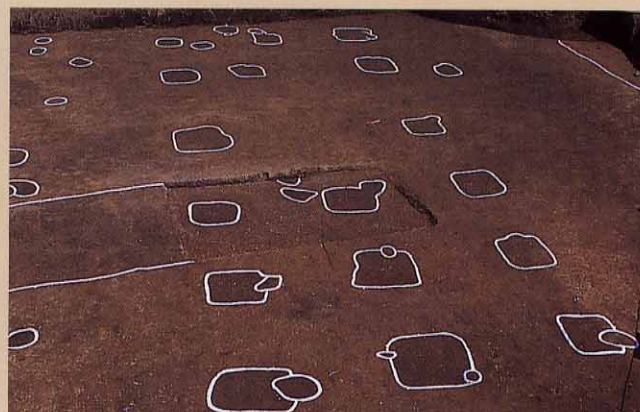
遺物は古代の土器類が大半で、大方は竪穴住居のカマド周辺から出土しています。これらの中では、規模の大きな掘立柱建物や井桁組をもつ井戸の存在が注目され、集落の内部に何らかの公的機能を持った一画が附属していた可能性が考えられます。



遺跡近景



南側調査区全景（空撮）



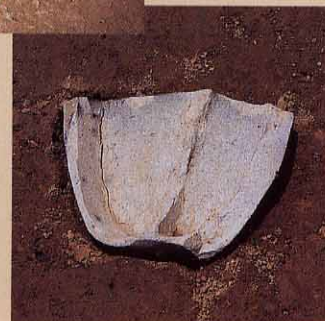
SB510掘立柱建物跡



SE481井戸跡



ST255竪穴住居跡



陶碗出土状況

「飛泉寺」を中心に栄えた中近世の門前町

小国町
飛泉寺跡遺跡



遺跡全景（東から）



SB 2 柱穴（根石と根固め石）



SB 2 掘立柱建物跡

室町時代末創建と伝えられる「飛泉寺」を中心に発展した門前町と考えられます。中世～近世の掘立柱建物や、無数の建物跡の柱穴が検出されました。建物の延べ棟数は、百数十棟におよぶと推定されます。建物は特定の場所に繰り返し建てられており、数カ所の屋敷割りがあったと考えられます。越後街道沿いの市野々地区の集落でもあり、中国からの輸入陶磁器、九州の肥前産の陶磁器などが出土しています。

峠の茶屋。不動川。江戸をめざす大名行列！

山形市
坂ノ上遺跡

羽州街道



坂ノ上遺跡を山形ニュータウン展望台より臨む

遺跡は山形ニュータウン「蔵王みはらしの丘」に位置します。今回の調査では、江戸時代の寛永年間（1624～1644年）に成立したと考えられる羽州街道の一部が見つかりました。路面に敷かれた玉石や道路の両側に掘られた溝などからは、往時の人びとの息づかいが聞こえてきそうです。



南端から臨む調査区全景



路面に敷かれた玉石の道



側溝にあった
ナゾの桶2つ

平安時代の登窯がよみがえった！

酒田市
泉森南窯跡



窯跡と灰原の様子



窯の中にのこる土器や瓦

泉森南窯跡が所在する出羽丘陵一帯は、これまでの発掘調査でたくさんの窯跡が見つかっており、古代の土器の一大生産地であったことが確認されています。

調査を行った窯跡は遺存状態がたいへん良く、窯の壁がそのまま残っている部分もありました。また、内部には多量の土器が入っており、カメやツキなどの土器に混じって瓦も出土しました。窯の位置する斜面の下には、焼き損じた土器をかき出して捨てた「灰原」や、土器をつくるための粘土を採掘したとみられる横穴も見つかりました。

■ 編集後記 ■

今回ご紹介した6カ所の遺跡のほか今年度発掘調査された2遺跡を加え、12月8日(日)に山形国際交流プラザ(ビッグウイング)を会場に報告会を開催します。調査成果をより詳しく紹介するほか、出土した遺物の展示も合わせて行います。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

紙面の都合により、「史跡散歩」はお休みしました。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)